

所沢市立教育センター「所報」

けやきたい

教師一人一人が力をつけ、学校力を高め、子どもの生き抜く力を育む

所沢市の教育の理念

みんなが持っている三つの“宝”を掘り起こして大きく育てます

心身のたくましさ

未来を拓く知恵

ふるさと所沢を愛する心

所長挨拶

所長 中村 啓

今年度も、校長先生をはじめ、先生方には、当センターの事業にご理解とご協力をいただきましたこと、心より感謝を申し上げます。

研修・研究事業 今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大への対応だけでなく、働き方改革や、受講者の力量向上の視点から、集合型にするか、オンライン型にするか、開催方法を検討して実施してまいりました。これにより、年度当初に企画した研修、研究事業は全て実施できました。また、今年度、2年次教員研修を7、8人のグループで対話し、つながりを深めながら、教師としての力量を高める形に変えました。対話場面では、一人一人が自分の意見を堂々と述べる姿に逞しさを感じました。他の変更点として、研修員や研究員の報告書を簡略化しましたが、これにより、授業実践に注力できた他、文字数を減らし視覚的に分かりやすくまとめる等、研究成果等を明確に伝えることができるようになりました。来年度も、研修・研究の効果という視点を常に考え、研修・研究事業を進めてまいります。

教育相談事業 今年度、不登校児童生徒の増加が顕著になり、その理由調査をしました。調査結果から、新型コロナウイルス感染症の拡大による学校・家庭生活の大きな変化が不安を増大させたこと、また、欠席することへの抵抗感を低下させることが背景にあるのではないかと考えております。来年度は、不登校児童生徒支援のための研修会の充実の他、アドバイザー支援やSSW派遣の活用を促進することを通して、各学校において、不登校児童生徒一人一人に応じた適切な支援が実現できるようにしてまいります。

ICT推進事業 今年度も、各学校でICT機器の活用を進めてくださり、2月の調査によると、ICT機器を活用して授業ができる教員の割合が約65%にまで高まりました。来年度も、「ICT機器の活用によって、主体的・協働的な学習を促進し、一人一人の思いや考えが深まる」授業づくりを推進してまいります。

心のエネルギープロジェクト 今年度、各校が自校の「心のエネルギープロジェクト年間計画」を一層充実できるよう、効果的な取組を紹介する「心のエネルギープロジェクト実践事例集」を作成し配付いたしました。また、研究部がストレスへの対処法をまとめた「ストレスマネジメントプログラム」や経験の浅い教員向けの「学級経営ガイド」を作成しました。来年度は、各校がこれらを活用し、児童生徒一人一人の自己肯定感を着実に醸成できるよう支援してまいります。

教育相談室より

今年度、教育相談室では、コロナ禍以前に近い形で相談活動を行うことができました。内容としては、面接相談・電話相談ともに、不登校に関わる相談が最も多くなっています。しかし、教育支援センター「クwest」への入室者数には大きな変化は現れておりません。これは、不登校児童・生徒に対して各学校で丁寧に対応していただいていること、不登校の要因が複雑に絡み合っておりクwestにつながることも難しいケースがあることなどが考えられます。小学6年生から中学生を対象とした「クwest集団活動」では、参加者がそれぞれのペースで学習やグループワークにチャレンジし、様々な体験をすることができました。

また、教育相談アドバイザー支援事業を御活用いただき、ありがとうございました。以下は、活用例や活用した学校からの感想です。来年度もぜひ御活用ください。

<活用例>

- ・心理：授業を参観し、児童生徒への指導方法などについて助言いただく。
- ・医療：自分を傷つけるような児童生徒への対応のしかたなど校内研修で講演をしていただく。
- ・福祉：不登校などの児童生徒に対しどのような福祉的な支援ができるか検討し助言いただく。

<成果>

- ・教師による児童生徒の実態把握がより進み、個別の声かけや指導方法を工夫することができるようになった。
- ・担任教師が自身の指導や児童との接し方を改めて自覚することができ、声掛けや授業の進め方に生かすことができた。学年内の協力体制が進み全体への指導に生かすこともできた。
- ・自校で進めてきた取組について専門家の立場から御指導いただいたことで安心して取組を進めることができるようになった。

ICT 担当より

●新学期に向けて各種アプリの設定作業を行ってください。(トラブル防止の観点から確実にお願いします。)

Google Classroom

●Google Classroom のクラスを削除

- ①削除したいクラスを選択し「アーカイブ」する。
- ②「アーカイブされたクラス」から削除を実施。

1 削除したいクラスの右上「⋮」を押し、アーカイブ処理を実施。



schoolTakt

●schoolTakt の授業チャット・コメント機能等を OFF

- ・2022 年度の配布課題全てに対して、以下全て
- ①授業チャット機能 OFF ②共同作業モード OFF
- ③課題コメント機能 OFF



●「所沢市教育情報セキュリティポリシー」が改訂されます。

●「所沢市教育情報セキュリティポリシー」の確認を！

【主な内容】

- ・児童生徒及び保護者の個人情報等（写真含む）を、校外に持ち出すことを制限しています。
- ・貸与以外のパソコン、モバイル端末等を、原則業務に使用してはいけません。

●「教職員用 Google アカウント使用誓約書」の提出を！

- ・セキュリティポリシーの改訂に伴い、全教職員を対象に、Google アカウント使用誓約書の提出が必要です。内容を確認の上、所沢市教育情報セキュリティポリシーの遵守をお願いします。

所沢市 教育情報セキュリティポリシー (抜粋版) R5.4.1

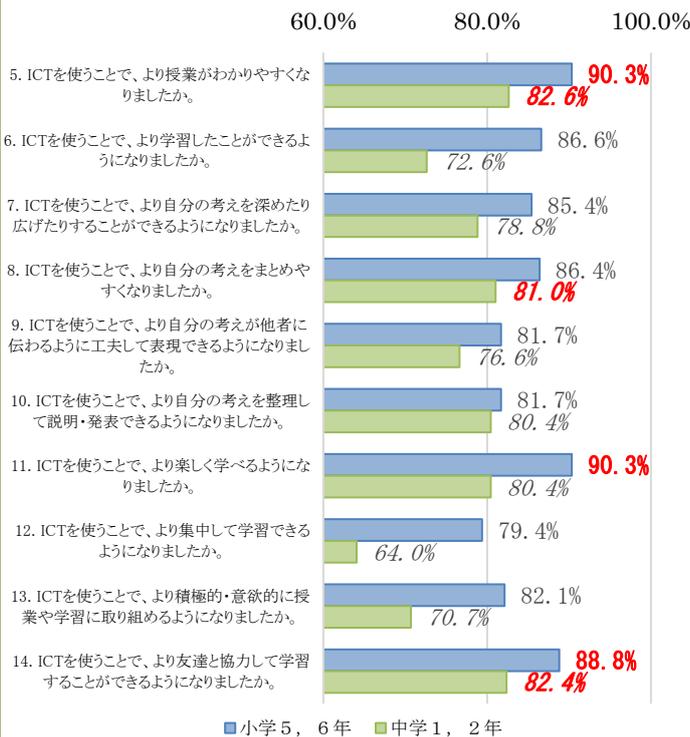
学習指導要領の改訂により令和 2 年度から、小中学校全教科において、情報活用能力の重点化やプログラミング教育が導入されました。また、「GIGAスクール構想」に基づき、児童生徒 1 人 1 台端末、1 人 1 アカウント、教育用クラウドアプリ環境が整備され、児童生徒や教職員が情報機器を利用する機会が増えました。

そのため、これまでのセキュリティポリシーを教育活動の推進と児童生徒、保護者ならびに職員・教育関係者のプライバシー等を守ることを目的として見直し、「所沢市教育情報セキュリティポリシー」及び「教育情報セキュリティ実施手順」を改訂しました。教職員に関する内容を抜粋版としてまとめ、主な改訂箇所には下線を引きましたので、御確認ください。

●「学校における ICT 機器の活用と効果に関する調査（令和 4 年度第 2 回）」

ICT 活用の効果「わかりやすい」「楽しく学べる」「協力して学習できる」「考えをまとめやすい」「思考力・判断力・表現力等」の資質・能力に関する項目の伸びが顕著

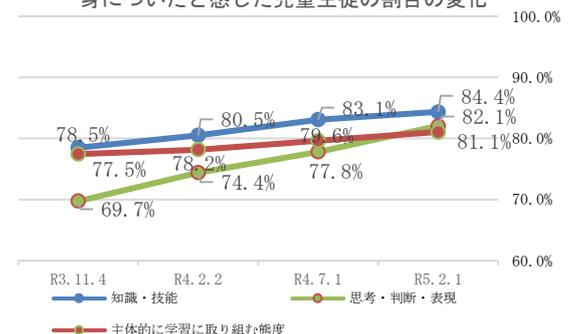
ICTを活用して身についたと感じる資質・能力



令和 5 年 1 月に、児童生徒（小学 5・6 年 1852 人抽出、中学 1・2 年 1129 人抽出）を対象に調査を実施しました。その中から、「ICT を活用して身についたと感じる資質・能力」についてお知らせします。左図のように小学生、中学生ともに多かったのは、「より授業がわかりやすくなった」「より友達と協力して学習することができるようになった」「より楽しく学べるようになった」「より自分の考えをまとめやすくなった」の項目でした。教員が授業で ICT の活用方法を工夫してきたことで、様々な資質・能力を身につけることができるようになりました。

伸びが大きかった項目は、下図のとおり「思考・判断・表現」に関する資質・能力でした。ICT の活用により、深い学びができるようになると思います。

身についたと感じた児童生徒の割合の変化

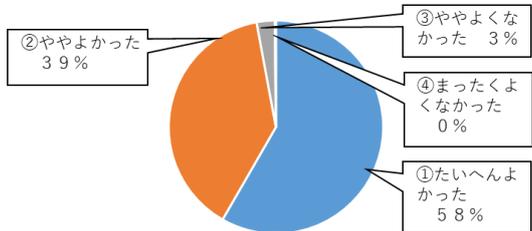


今年度の振り返り～研修アンケートより～

<教育課題に対応した学力向上推進事業>

- ・学び創造アクティブ PLUS 研究校支援研修
- ・教科等指導力向上研修・豊かな心育成支援研修

教育課題に対応した学力向上推進事業
研修会 研修内容満足度

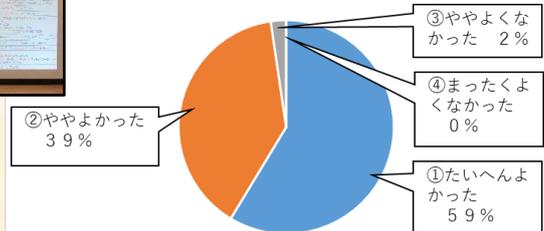


参加者の先生には、オンラインやオンデマンドでの研修を行いました。期間内で何度も視聴可能なことから充実した研修につながったとの感想が多くありました。来年度も、**教師一人一人が力をつけることのできる**研修会を工夫していきます。

<学び創造アクティブ PLUS 研究校支援研修>

※教育課題に対応した学力向上推進事業から抽出

学び創造アクティブPLUS研究校支援研修
研修内容満足度

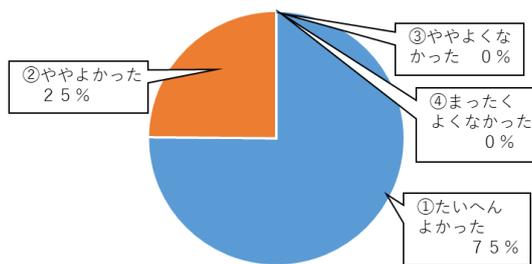


今年度は、集合型の研修やオンライン、オンデマンドでの研修等、より効果的な研修を考え、アクティブ PLUS 研究校支援研修を実施しました。来年度も、校内研修を支援し、**学校力**を高めていきます。

<教育相談事業>

- ・不登校解消・特別支援教育研修

教育相談事業 研修会 研修内容満足度

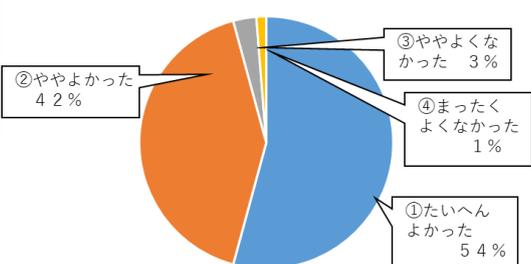


全ての研修を対面で行うことができたことは、教育相談の特質上、非常に有意義でした。来年度も、児童生徒理解を深め、柔軟な対応ができるような**相談体制の充実**に向け、努めていきます。

<ICT 推進事業>

- ・ICT 教育推進研修会

ICT推進事業 研修会 研修内容満足度

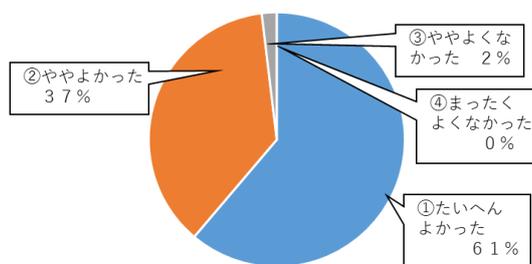


今年度は、中学校区を基本として情報交換を進める中で、各校の課題を明確にすることができました。来年度は、共有された好事例を基に、市内全体の ICT 活用のさらなる**推進**に努めていきます。

<資質向上事業>

- ・経験者研修
- ・資質向上研修

資質向上 研修会 研修内容満足度



「研修会に関するアンケート」について
まだ、アンケートをお済みでない方の御意見をお待ちしております。



集合型やオンライン研修、オンデマンド研修等形態を工夫し研修会を実施することができた。来年度も、参加者の感想をもとに、研修方法を工夫し、先生方の**授業力や指導力の向上**を図ることのできる研修会を実施します。

今年度、教育センターの研修会は、「『授業力』『学級経営力』それを支える『子供への愛情と理解』と『組織力』」を高めることで、学校力の向上に努めてきました。昨年度の研修形態の工夫から、より効果的な様式を考え研修会を実施してきました。新しい形の研修会で高い満足度を得られたことは、大きな成果でした。今後の研修会にも生かし、「**学校力**」の向上に努めていきたいと考えています。いただいた御意見をもとに、さらに充実した研修会にできるよう努めていきます。

市内は今年度の実践と来年度へ向けての改善点です。



1月・2月の研修会報告（実践事例）

教授と活動のバランスに配慮した授業づくり研修会

会場校：向陽中学校

指導者 東京大学 市川 伸一 名誉教授

演題 「生徒が主体的に学ぶための授業づくり～「教えて考えさせる授業」の視点から～」



「教えて考えさせる授業」とは

「教えて考えさせる授業」の提案（市川、2001、2004）

「詰め込み」「教え込み」:旧タイプのわからない授業
 教えずに考えさせる授業:新タイプのわからない授業
 教えて考えさせる授業

input 偏重
 output 偏重

協働的に学習し、深い習得を目指す場面

基礎知識は教え、思考・表現を通して深い習得を促す



《参加者の声》

- ・「教えずに考えさせる授業」という言葉にハッとさせられて、自分自身の授業を振り返ると、思い当たることがあったので、今後の授業づくりに生かしていきたいと思いました。
- ・生徒が皆課題に熱心に取り組んでいて、自分の学級でも教科によってOKJ法を取り入れることで、児童がもっと主体的に学習できるようになるのかと思いました。

学級活動充実のための授業づくり研修会

会場校：東中学校

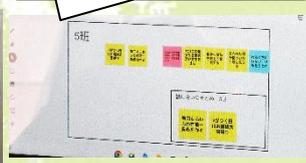
指導者 文部科学省初等中等教育局 視学官 安部 恭子

演題 「特別活動を要としたキャリア教育の推進～多様な他者と協働し、よさや可能性を生かしてよりよく生きる力を育む」

行事のふりかえりのためのICT活用

Google スライドを活用した発表

Jamboard を活用したグループ発表



・自治的能力が何よりの基盤

- ・子ども同士の関わりが自己存在感を高める
- ・これまでの学びが今の自分に、今の学びが将来の自分に社会に→キャリア教育

《参加者の声》

- ・学級活動の小・中連携の重要性や、安部先生が話していた「非認知力」等、改めて大切だと思った。
- ・子どもたち1人1人を大切に、自己の存在感を実感させるためには、事前準備を含めた教師の授業力とともに、授業以外での掲示物等や、学校全体で子どもたちを見守る意識が大切だと思いました。今後の実践に活かしていきます。

令和5年度当初の研修会について

日付等	時間	会場等	研修会名	備考
4月1日(火) ～5月9日(火)		各学校	新採用・転入教職員研修会	オンデマンド開催
4月12日(水)	15:30	各学校	社会科副読本等活用研修会	オンライン開催
4月19日(水)	9:30	教育センター	新任・転入管理職研修会	
4月28日(金)	15:00	教育センター	初任者担当指導教員研修会	
5月9日(火)	15:00	教育センター	ICT推進リーダー養成研修会	オンライン開催
5月10日(水)	15:00	教育センター	2年次教員研修開講式	